

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら池上

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	事前に打ち合わせを行い、最も効率的かつ効果的な活動を検討しております。	利用定員は法令上適切ですが、同時間帯の利用人数によっては狭く感じられる場合がございます。安全に配慮した効率的かつ効果的な活動が実施できるよう、引き続き支援の充実化を図ります。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	加配とされる人員を配置しております。	法令上の配置基準を満たしております。引き続き、支援の充実化を図ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	視覚的に伝えられるよう補助(ポスター等)を設置し、構造化しております。階段については必要に応じて職員が補助を行っております。情報伝達についてもカードやハンドサイン等を活用し、配慮を行っております。	引き続き子どもたちがわかりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	1日2回の清掃を徹底しております。マニュアルを作成し、清潔で整理された環境づくりに留意しております。	引き続き支援の充実化を図ります。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	6	0	子どもの様子や目標の共有を毎回実施しております。	より広く職員が参画できるよう、日々のスケジュール管理を行ってまいります。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	頂いたご意見はスタッフ内で共有をしております。ご意見を参考とし、すぐに改善可能な点は改善に繋げております。	引き続きニーズを把握し、業務改善に繋げます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページで結果を公開しております。また、結果を公開した旨、メールや掲示等で周知を図っております。	ホームページで結果を公開している旨、引き続き周知を行ってまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者評価は実施しておりません。社内検討において必要となった場合は、対応してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	児童発達支援管理責任者が中心となり、ニーズの把握や課題分析を実施しております。	引き続き支援の充実化を図ります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	引き続き支援の充実化を図ります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	職員間で打ち合わせを行った後、保護者ニーズとの擦り合わせを行っています。必要な支援項目を選択し、具体的な支援内容を設定しております。	「家族支援」「地域支援」に関しては支援が行き届いていない部分が大いなのが現状です。社内検討を進め、引き続き支援の充実化を図ります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	支援計画に沿った活動を行うよう、ケース会議等の実施、また研修や育成を行っております。	チームで活動内容を確認し、引き続き支援の充実化を図ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	活動の前後に打ち合わせを実施しております。	引き続き支援の充実化を図ります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	担当療育士が毎回変わるため、プログラムが固定しにくい環境となっております。	固定化が必要な内容については意図的に行います。お子様が楽しく活動できるよう工夫して行います。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	個別活動を中心としていますが、休日や長期休み期間に集団活動の機会を設け、適宜ご案内を行っております。	保護者ニーズを把握するため、アンケートを実施しております。アンケート結果を踏まえて、今後の集団活動内容等を検討してまいります。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	日々打ち合わせを実施しております。	引き続き支援の充実化を図ります。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	日々打ち合わせを実施しております。	引き続き支援の充実化を図ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	社自の手引きや社内サイトを活用し、適宜記録の記入方法や検証方法を確認できるようにしております。	定期的に記録方法について確認・研修を行い、支援の質の向上に繋がります。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	適切な時期にモニタリングを実施しております。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児童発達支援管理責任者を中心にして参画しております。必要に応じて指導員が参画できるよう調整をいたします。	引き続き支援の充実化を図ります。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	必要に応じて連携を実施しています。	引き続き支援の充実化を図ります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6		対象の児童は居りません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		対象の児童は居りません。利用児童の通院先が指定されている場合は、通院先・主治医を把握しております。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	必要に応じて所見の提出・情報共有・会議等の連携を図っております。	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	必要に応じて所見の提出・情報共有・会議等の連携を図っております。	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5	必要に応じてセンターや他事業所等との連携を図っています。区主催で実施する事業所連絡会(地域ネットワーク会議・分科会)に参加しております。	機会に応じて積極的な参加を検討していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		これまで保護者のニーズとしてご要望をいただいております。今後必要に応じて検討してまいります。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	区主催で実施する事業所連絡会(地域ネットワーク会議・分科会)に参加しております。	機会に応じて積極的な参加を検討していきます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	主にフィードバック時にご家庭・園での様子等を伺い、共通理解を持つよう努めております。	引き続き支援の充実化を図ります。利用希望アンケートや面談希望票をご活用いただいで面談のご要望を承ります。こちらからも積極的に様子伺いを行います。
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	6	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しております。	社内で検討を進め、必要に応じて研修などに参加し、知識・スキルを身に付けられるよう努めます。利用希望アンケートや面談希望票をご活用いただいで面談のご要望を承ります。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時・変更時に説明を実施しております。	今後も変更が生じた場合は丁寧な説明を行います。また、保護者より質問があった場合は丁寧な回答を心掛けます。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	支援計画を提示し、内容の説明を行って同意を得ております。	引き続き支援の充実化を図ります。ガイドラインについて併せて説明するよう努めます。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しております。	引き続き支援の充実化を図ります。利用希望アンケートや面談希望票をご活用いただいで面談のご要望を承ります。こちらからも積極的に様子伺いを行います。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		これまでニーズとしてご意見をいただいております。今後、必要に応じて検討してまいります。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時ご説明をしております。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	ホームページにそら通信を掲載しております。行事予定や行事報告等はメールや待合室への掲示を行っております。	周知方法を多岐に検討し、適宜行います。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人情報書類は原則事務室から出さないよう徹底しております。 また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	フィードバック時の距離に留意いたします。個人情報 が記載された書類に関しては十分に取り扱いに 注意いたします。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしている	6	0	子どもに対してはサインやカード等を活用しており ます。保護者においては必要に応じて電話やメール 等を活用しております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている	2	4	そらコンサートを実施しています。(新型コロナウイ ルス感染症の影響により、中止となっています)	引き続き、支援の充実化を図ります。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると ともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	マニュアルを策定し、待合室に設置をしています。 特に必要な情報は別途掲示も行っています。	変更があった場合は周知を図ります。引き続き支援 の充実化を図ります。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	6	0	年に2回の避難訓練を実施しています。できるだけ 多くの会員様にご参加いただけるよう、1週間の訓 練期間を設けております。	引き続き支援の充実化を図ります。訓練詳細につ いては事前に保護者にご連絡をいたします。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認している	6	0	フェイスシート・発作時対応シートの記入とご提出 をいただいております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書 に基づく対応がされている	6	0	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内 容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いた だいております。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確 認いたします。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いる	6	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っ ております。報告書を作成しております。	都度事例を共有し、対応方法を含めた検討を行っ ております。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、 適切な対応をしている	6	0	研修を実施の上、必要に応じて児童相談所・子ど も家庭支援センターやその他の関係機関と連携を 図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に 研修を実施してまいります。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分 に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載 している	6	0	スタッフに対し、内容周知のための研修を行って います。今年度対象児童は居りません。	引き続き、支援の充実化を図ります。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。